

メロン (ウリ科)

月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月					
旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
作	(苗購入)			○ — 定植			○ — 開花・着花			○ —			○ —			○ —			○ —			○ —		
型	本葉3～4枚頃																							
	※自家育苗の場合：は種時期は、定植予定の25～30日前で、本葉3～4枚で定植します																							

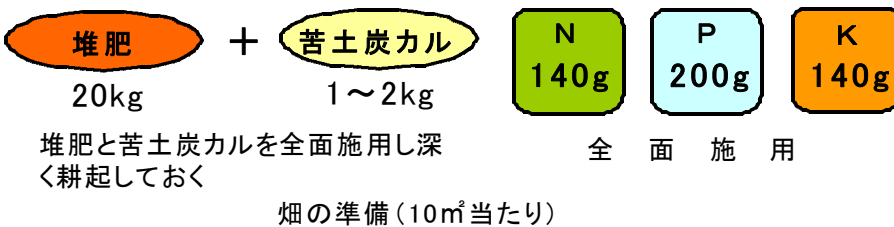
表1 主な品種

品種名	果肉色	低温伸長性	果形	ネットの良否	糖度	玉肥大	日持ちの良否	着果～収穫まで
ルピアレッド	橙色	○～△	球形	◎	◎	○～◎	◎	52日
夕張キング	橙色	◎	やや長形	○	◎	◎	△	45
レッド113	橙色	○～△	球形	◎	◎	◎	◎	60
エルシー2号	橙色	○	長形	◎	◎	◎	◎	50～55
I・K(小林2号)	橙色	◎	球形	○	◎	◎	△～○	45
いちひめ(空知交11号)	橙色	◎	球形	◎	◎	◎	◎	53
G08	淡緑色	◎	球形	◎	◎	◎	◎	60
キングメルティ	淡緑色	◎	やや長形	◎	◎	○～◎	△～○	45
めろりん	淡緑色	◎	球形	◎	◎	◎	○	49

※当地区では冷涼な気候のため、着果～収穫までの日数が表より5～10日位遅くなります。
 ※◎:優れる、○普通、△:やや劣る

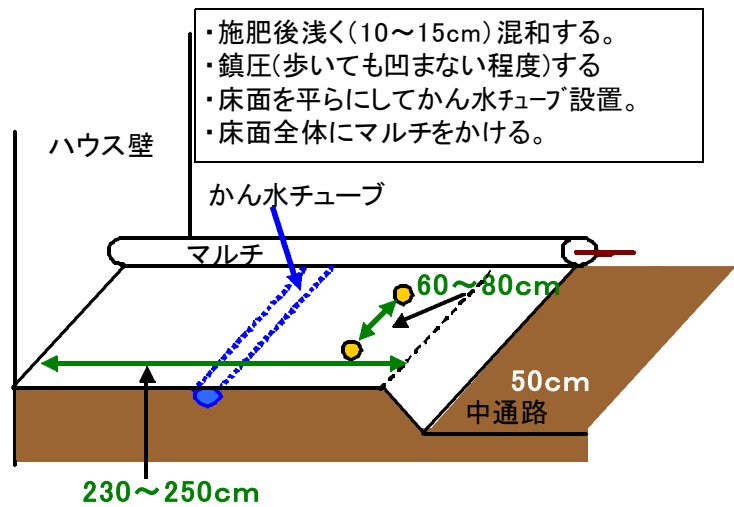
1 栽培管理

①畑の準備

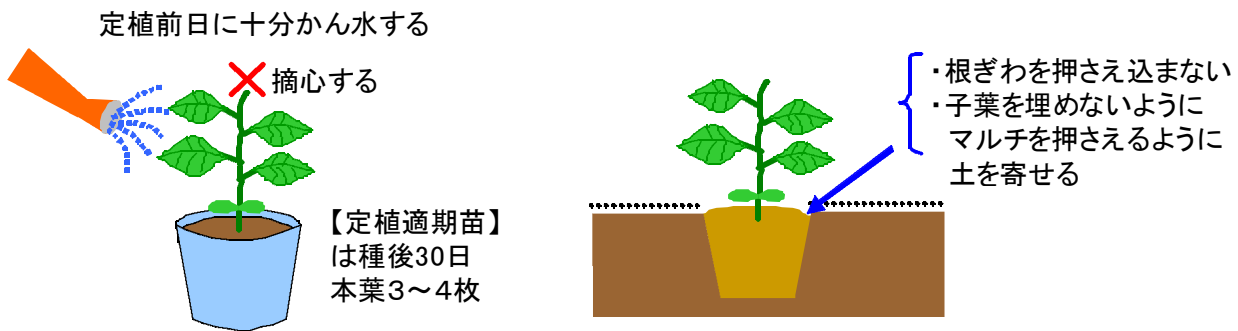


②定植

- 定植床は、「這い作り」は平畦かやや高畦に、「立て作り」はやや高畦にします。
- 栽植密度は、
 「這い作り」
 ベット幅230～250cm
 ×株間60～80cm
 「立て作り」(1ベット1畦)
 ベット幅100cm×株間40cm
- 定植時の地温(10cmの深さで)は18℃以上を目標にする(最低16℃以上に)。



ハウスの這い作り床

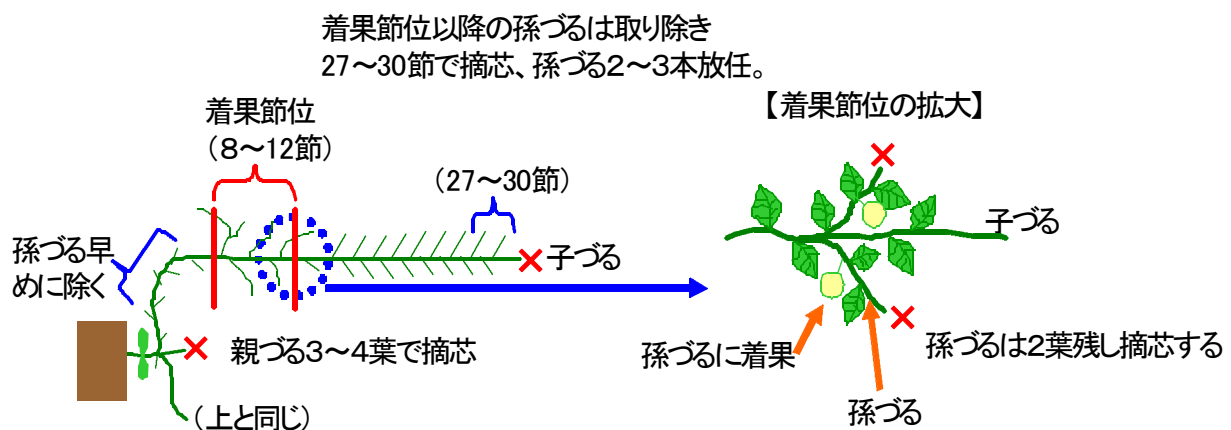


③管理

- ・生育適温は、昼間23~28℃。夜間は14~18℃で、適地温は20~25℃です。最低限界温度は気温13℃（開花~着果期は16℃）、地温15℃です。当地域では夜間の保温が課題で、5月~6月中旬にかけて、夜間は二重トンネルで保温すると効果が大きいです。

※初期生育の良否は、夜間保温によって決まるのでトンネル保温を実施してください。また、着果の良否は雌雄花の開花前後の温度、日照が大きく影響しますので、温度管理に注意しましょう。

- ・仕立法には色々ありますが、一般的な子づる2本仕立の整枝を次に図示します。



子づる2本仕立法（品種により着果節位が異なるので、品種の特性を知り整枝すること）

- ・受粉は、植付け株数が少ないときは雄花で付けます。株数が増えるとトマトーン50倍液で開花日の朝、霧吹き等で噴霧します(二度がけしないように食紅を少量入れると目印になります)。
 - ・摘果は、素質の良いものを残し、1つる2果、1株4果採りが理想です。
 - ・着果後は、水をやや多めにやり、ハウス内の温度を高め（30℃前後）肥大の促進をはかります。摘果後は野球ボール大になった頃に、メロンマットの上に正置（玉直し）します。
 - ・主な病害は菌核病、つる枯病、つる割病、斑点細菌病等で連作すると発生する病害も多くなります。主な害虫はハダニ、アブラムシです。
- 病虫害防除の基本は早期発見・早期防除です。日常の観察とハウス内の温度・湿度管理に細心の注意を払うとともに、適期整枝管理に努め、過繁茂にさせないことが大切です。

2 収穫の目安

開花から収穫までの日数は、品種・作型により異なるので、その特性を知り、着果棒（すいか参照）により成熟日数に達したら試し切りし、成熟度（糖度13度以上）を判定して収穫します。
（※糖度を測る糖度計は普及センターにあります。）